

職員は家族、長く働ける職場の提供

えがみ小児科

〒861-8003
熊本市北区楠8丁目16番63号
TEL 096-339-0331
FAX 096-338-7260

- 代表者／江上公康（院長）
 - 業 種／医療機関
 - 従業員／38名
 - 事業概要／小児科、病児保育
- 【<http://egami-clinic.com>】

アピール
ポイント

1 「病児保育エミー」を併設

子どもが病気で登園、登校することができず、仕事を休めないとき、併設している「病児保育エミー」で保育士、看護師が子どもの状態に合わせた適切な保育・看護を行っています。



2 有給休暇を全部取るのが決まり

仕事と生活を調和させ、やりがいや生きがいを感じて働くためには、オンとオフの切り替えが大切です。休みをしっかりと取ることが仕事の活力になります。そのため有給休暇は毎年全部取るように決められています。

3 職員を大切にする環境づくり

開業以来40年勤続している看護師が3名います。職員は家族のようなものです。医院にとってもキャリアを積んだ人材は大切ですし、患者さんにとっても顔なじみの職員がいることは安心でしょう。職員を大切に、できる限り長く勤めることができるような職場環境づくりをしています。

職員の 声

看護師 坂本 愛さん
「病児保育エミー」保育士 松本 ちひろさん

【坂本さん】3歳と1歳の女の子を出産したとき、産前・産後休業と育児休業を取得して復職しました。復職後は9時から16時までの短時間勤務です。「病児保育エミー」が併設されているので、子どもが熱を出して保育園に行けないときは預けて仕事ができるので安心です。

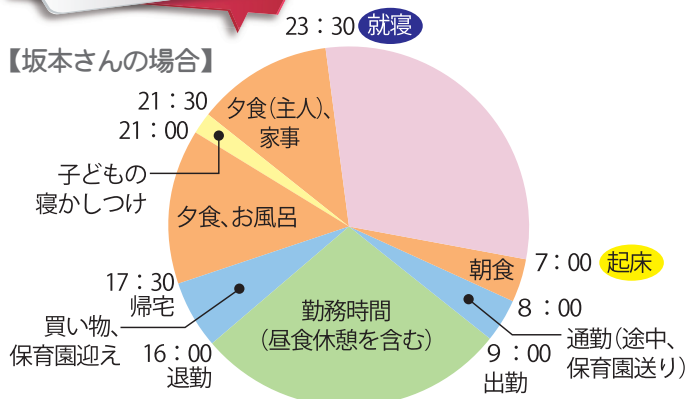
【松本さん】出産して復職するとき、先生や先輩保育士に相談して、勤務形態を配慮していただきスムーズに現場に戻ることができました。

毎月、保育士で話し合っ
て勤務予定を組んでいるの
で、保育園の行事などに合
わせて休みを取ることがで
きて助かっています。



1日のスケジュール

【坂本さんの場合】



Interview

院長 江上 公康さん



人はそれぞれ結婚、出産、子育て、介護…とライフステージが変わっていきます。その中で、短い時間、働けない時期があるとき、それを職員みんなでカバーしていかなければならないと思います。

仕事をしっかりやるためにはプライベートが充実していることが大切です。そのために有給休暇は毎年全部消化してもらっています。休みの前借りはありですけれども持ち越しは原則的に認めていません。休みを取って、体調管理をしっかりして仕事を長く続けてほしいと願っています。